



第55回加茂市総合体育大会総合開会式



〈主な内容〉

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 常任委員会の審査から …… (3)
- 9人が一般質問に登壇 …… (4)
- 水俣病特措法の申請期限延長を採択 …… (7)
- 議決状況一覧表 …… (8)

目標に向かって!!

ジュニア選手の抱負発表

加茂市総体総合開会式
(加茂文化会館)

一般会計補正予算を可決

小学校耐震補強事業費

二億四千六百万円など

六月定例会市議会は、二十日から二十九日まで、会期十日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、条例改正、人事など市長提出議案十四件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、同意しました。また、議員提出の意見書一件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計は六号千円、七号補正で二億四千六百万円を増額し予算の総額を百四十億九千百十三万三千円とする

ものです。

歳出の主な内容は、中小企業金融対策費二百二十四万八千円、小学校耐震補強事業費二億四千六百万円などを増額するものです。

条例改正

印鑑条例及び手数料条例は、住民基本台帳法等の一部改正及び外国人登録法の廃止に伴い、外国人の登録制度が変更されることから、所要の改正をするものです。子どもの医療費助成に関する条例の一部改正は、県が子どもの医療費助成事業の対象年齢を拡大するため、その制度に合わせて改正をするものです。

市道路線

圃場整備事業による道路網の再編、地元の要望により、市道の廃止、認定及び変更をするものです。

人事

定例会最終日の本会議で、六月三十日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、増井孝一氏（高須町二、63歳）の選任について同意しました。

また、人権擁護委員候補者に、小池俊木氏（本町、46歳）、太田由紀子氏（栄町、58歳）、一男氏（秋房、50歳）を推薦することに同意しました。

専決処分

国民健康保険特別会計補正予算は、平成二十三年度の決算見込みで歳入が歳出に不足することから、

平成二十四年度の歳入を繰り上げて、これに充てたものです。一般会計補正予算は、建設機械等管理費七百二十万円、水路維持費三百八十五万円、中学校営繕費一千五百万円などを増額したものです。

7月臨時会

七月二十日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案二件を原案可決しました。

そのうち、一般会計補正予算は、子ども医療費助成事業費一千三百十三万二千円及び環境衛生事業費百三十三万九千円を増額するものです。

また、加茂市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正については、子どもの医療費助成事業の対象年齢を拡大し、すべての子どもの通院について、本年九月一日から中学校卒業まで原則無料とするものです。



夏の日差しを浴びる加茂山神池の噴水

定例会日程

6月20日	本会議・全員協議会
21日	本会議
22日	連合審査会
25日	産業建設常任委員会 全員協議会
26日	社会厚生常任委員会
27日	総務文教常任委員会
29日	本会議

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

【特別表彰】

◎議員在職二十五年以上

- 樋口 浩二 議員
- 関 龍雄 議員



表彰状を受ける樋口議員



表彰状を受ける関議員

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願は、6月25日から27日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

六月二十五日に委員会を開催し、市道路線の認定箇所等の現地視察を行った後、一般会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、皆川区入り口の道路改良の請願など二件については、紹介議員の説明の後、審査を行い、いずれも趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

六月二十六日に委員会を開催



産業建設常任委員会の現地視察 (赤谷・請願箇所)



産業建設常任委員会の現地視察 (上条・請願箇所)

し、一般会計補正予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しま

した。また、水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

六月二十七日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

市民福祉交流センター（美人の湯）事業について

新政クラブ 高井 保 議員

質問 ① 美人の湯の収支は一般会計で処理されている関係で、精細な数字は読めないが、単純でも一年六千万円くらいの赤字で、その上ことしからはパイプ取りかえ費用として一千六百万円以上かかる。裁判の和解条件を満たす意味でも、また市民に情報を公開するためにも、特別委員会を再開し、特別会計により運営すべきものと考えerがどう思うか。

② 災害時、携帯電話での情報提供は、全市民向けではない気がする。市民への周知の徹底と緊急情報のあり方を聞く。

答弁 ① 当初は、特別会計で処理していた。ところが、特別会計で処理すると美人の湯運営事業が消費税の対象となるが、一般会計で行えば消費税の対象にはならないことが後日判明した。あえて消費税を払う必要はないので、同じ内容で早速一般会計に移しかえたわけである。

また、一般会計だと収支がよくわからないとのことであるが、決算ごとに収支決算を一枚の表

教育行政について

新政クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 平成四年に西小学校校舎新築にかかわる請願が採択されてから二十年が過ぎた。地元からは毎年、新築促進の要望書を提出している。一日も早く西小学校の校舎新築をしていただきたく要望する。

② 加茂市では、市長の教育施

にして議員に配っている。特別委員会を再開するかどうかは、議会が判断することで、私がコメントすることではない。

② エリアメールは極めて有効であったと思っている。平成二十四年一月からNTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの三社の携帯電話に瞬時に情報を配信できることになったので、これまで以上に市民の皆様に情報を配信できるものと思う。

策が既に決定してから教育委員会会議にかけられる。教育委員は意見が反映できず、本来の機能を失っている。市長の方針について、そのやり方を教育委員が考えるような関係が望ましいと思うがいかがか。

③ 最近では、教育基本法の改正、新学習要領の実施、教育委員会

消防団活動に協力する事業所について

大志の会 滝沢茂秋 議員

質問 ① 全国的には消防団員数が減少する傾向にあって、加茂市は四百名ほどの団員数を長年維持し、被雇用者割合では全国平均七〇％程度に対して、八六・六％とかなり高率である。これは、全国的に被雇用者が活動しづらくなっている中において、この地域において消防団員を雇用する各事業所が、地域に

制度のあり方など、教育改革が議論されているが、教育長就任に当たり、加茂市の教育について課題と抱負を伺う。

答弁 ① 当分は複式学級の回避に全力を注ぎ、校舎の耐震工事を行って、様子を見ながら機をうかがっていきたいと思う。

② 教育行政においては、戦後、政治的中立性と安定性の観点から教育委員会が置かれ、一方市長には地方公共団体を統括し、これを代表する権限がある。

③ 加茂市の教育のレベルは、極めて高い水準にあり、これを維持、発展させていくことが大切であると考えている。

芸術、文化、スポーツの広範囲にわたって、充実した取り組みがなされている市町村はほかにないと思う。築き上げられた貴重な財産を維持、発展させていくことが極めて重要であると考えている。

に対する社会貢献への高い意識を持たれているものであると推測される。そこで、加茂市長表彰として協力事業所表彰を新たに加えていただきたい。

② 四と九の六斎市の出店件数は、平成十五年に二百九十四件だったものが、二十三年には百八十七件まで減少してしまっただけで、この減少傾向についてどのような

詳しくは会議録で
六月定例会の会議録は、八月下旬に発行予定です。
図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニケーションセンターでござんください。

なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんになれます。

市政の内容を聞く

一般質問

六月定例会では初日から九人の議員が

一般質問を行い市政全般について所見や

執行状況を問いただしました。その要点をお知らせします。



6月定例会本会議

西高東低型に進化している加茂市の未来展望について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 加茂市のまちの様相は刻々と変化しており、特に空洞化する東地区の様子から地域全体の活気の停滞を強く感じる。廃業した古い工場の建物及び空き地に、新たな雇用を創出する工場及び住宅団地など、西加茂地区の発展をしのぐ画期的な構想があれば伺いたい。

② 道半交差点の改良について、当該地区民の利益を高める検討が必要であると同時に、地域を発展させたいという願いにもこたえる必要がある。そのためには、行政のリーダーシップが不可欠と考えるが見解を聞く。

答弁 ① 工場の建物というのは、これを更地にして住宅団地あるいは工場用地として分譲しようとする、この建物の解体撤去から始まり、工場の基礎を撤去して整地しなければならぬため、造成に費用がかかるものである。このため、分譲価格を低廉に抑えようとするという検討が必要であり、大変である。

② 昭和橋から真っすぐ若宮団地方向に道をつける件については、大量の立ち退き者が出て、

かえって人口が減少し、いわゆる東側がさらに人口減少を招くので、適当ではないと思う。現在、町通りの両面通行が五番町までできるようになった。

加茂の建具の伝統的工芸品への指定について

開明の会 田沢弘一 議員

質問 ① 現在、伝統的工芸品として建具関連では、どこも指定を受けていない。加茂の建具について、ブランド力の向上により、全国に販路を拡大する絶好のチャンスになると思われるので、市と組合が協力して伝統的工芸品の指定を受けることを検討できないか。

② 加茂の木製品を市と加茂木工品組合連合会などが相談し、東日本大震災の被災地における建物の再建のために調達してもらうことができないものか、検討願いたい。

③ 美人の湯の運営は、支出が相当超過していることを考慮し、今後は送迎バスの有料化の検討が必要ではないか。

引き続き新町の拡幅が終わると、加茂駅から全線両面通行ができるようになる。そうすると、東側の繁栄に大きく資するものと思う。

質問 ① 現在、伝統的工芸品として建具関連では、どこも指定を受けていない。加茂の建具について、ブランド力の向上により、全国に販路を拡大する絶好のチャンスになると思われるので、市と組合が協力して伝統的工芸品の指定を受けることを検討できないか。

② 加茂の木製品を市と加茂木工品組合連合会などが相談し、東日本大震災の被災地における建物の再建のために調達してもらうことができないものか、検討願いたい。

③ 美人の湯の運営は、支出が相当超過していることを考慮し、今後は送迎バスの有料化の検討が必要ではないか。

市民農園併設の農業体験公園の取り組みについて

大志の会 森山一理 議員

質問 ① 農業体験公園の調査研究、立ち上げについての考えを尋ねる。

② 原子力発電所の事故により電力不足が国全体で問題視されている昨今、新エネルギーへの

取り組みや市民個人の意識も変わってきている。加茂市民で太陽光発電を導入しているお宅が何軒くらいあるのか。

③ 新エネルギーを導入または導入を検討している企業、個人

宅の実態を把握しているのか。また、新エネルギー関係での問い合わせがあるのか。今後の対応を伺う。

④ 市民からの電気自動車の導入の相談はあるのか。

子ども医療費助成の拡充について

日本共産党 亀山重光 議員

質問 ① 子ども医療費助成について加茂市は、入院の一部負担金や入院時の食事代も加茂市負担としており、他市町村よりすぐれた面も持っている。しかし、現在、通院に対する助成内容は県内状況からしても不十分ではないか。

通院助成については中学校卒業までを求めるものであるが、財政状況を見ながら拡充していくことも必要と考えるが、見解を伺う。

② 市内にも多くの空き家が見受けられ、老朽化した建物も少なくない。これまでどのような空き家対策を行ってきたのか。

答弁 ① 新潟県では今年九月から助成対象を拡大し、子どもが三人以上いる世帯に限り、入

はなかなか踏み出せない。

② 個人や事業所等で太陽光発電の設備を設置するに当たり、行政に対して届出等を行う必要がないため、把握していない。

③ 加茂市では特に把握しておらず、また、問い合わせ等も今のところない。

新エネルギー、特に太陽光発電については、国の施策がどうなるのか、これからの状況をよく見きわめながら、対応していきたいと考えている。

④ 問い合わせはまだまだない。

院、通院とも中学生までとすることになった。これに合わせて、加茂市においても九月から通院の助成対象を県の制度と同じにするため、今議会に条例の改正案を提案している。

次の七月の議会に、九月一日から中学校卒業まで通院原則無料とする議案を市議会に提出したいと思う。

② 空き家についての相談を受けた場合、まず現場に赴き、その建物を確認し、次に建物の所有者を調べ、電話や文書などで連絡をとり、雪下ろしや破損した箇所の修理など、建物の適正な管理をお願いしているところである。また、地元区長さんや場合によっては消防署、加茂警察署とも連携し、対応している。

節電のための公共施設利用促進と高齢者の熱中症対策について

開明の会 浅野一明 議員

③ 生活保護申請資料は、だれでもが手にとりやすい場所に置かれているか。また、相談しやすい環境は整えられているか。

答弁 ① 公共施設の利用の件は、節電とは切り離して論ずるのがよいと思う。図書館では七月、八月の夏休み中、休館日を臨時開館し、一階閲覧室と二階学習室を開放して学生や市民の方などから利用していただき、好評を得ている。

② 本年四月一日現在で、六十五歳以上のひとり暮らしは八百七十五世帯となっている。

昨年、広報もお知らせ版で

質問 ① 加茂市でも節電対策を検討中と思うが、その方策の一つとして、公共施設の利用促進も有効ではないかと考える。夏場の公共施設利用増の方策を考えたければ聞きたい。

② ここ数年猛暑による高齢者の熱中症が問題視されている。高齢者のひとり暮らしの場合、熱中症は非常に危険なものとなる。現在、市内の高齢者の独居世帯数を聞きたい。また、その世帯への見守りなどの対応はどのようにしているか聞きたい。

② まちの駅は、市町村の行政域を越えた連携を目指して、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人との出会いと交流する拠点である。加茂市としてまちの駅の取り組み、また地域振興のための考えを尋ねる。

答弁 ① エネルギー政策とい

熱中症予防に関するチラシを配布して周知を図った。特に心配な在宅で介護を要する人たち、つまりホームヘルパー利用者へは、ホームヘルパーが訪問時に

チラシを持参し、熱中症と脱水症の周知、注意喚起を行った。

③ 加茂市ほど生活保護行政がしっかり行われているまちはない。

三市議員研修会

七月十日、全国市議会議長会法制参事の本橋謙治氏を迎え、田上町ホテル小柳で、三条・燕・加茂の議員合同研修会が開催されました。

『地方議会の現状等について』をテーマに、地方自治法の一部改正の概要を、経緯や事例等をまじえて、ご講演いただきました。

なお、今回の改正内容は、地方公共団体の議会及び長による

スマートシティについて

質問 ① スマートシティについては、エコシティ、コンパクトシティとも呼ばれているが、昨年の東日本大震災後の原発の全面停止を受け、エネルギー事情の見直しを踏まえ、市民生活や企業活動におけるエネルギーの重要性が改めて再認識されている。加茂市におけるスマートシティへの取り組みについて尋ねる。

② まだまだ実証実験段階のこの取り組みをもって、すぐに加茂市が導入するというものではないと思うが、これからの未来に向けて情報収集を行っていきたいと思う。

② まちの駅にしようとする、会費を払って、シンボルマークの看板を掲げなければならないこととなるが、そんな看板を掲げるつもりもない。

適切な権限の行使を確保するとともに、住民自治の更なる充実を図るため、議会の会期及び召集、議会と長との関係、直接請求制度等について必要な改正を行うというものです。



三市議員研修会 (ホテル小柳)

9月定例会

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

一般質問も行われます。

このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、九月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。



水俣病特別措置法の申請期限延長を採択

六月定例会市議会で受理した請願は三件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世田がん

3件

▽採択したもの

・皆川区入り口の道路改良の請願（上条区長）

・道路拡幅についての請願（赤谷区長）

赤谷川を改良し、道路拡幅をしてもらいたい。

☆意見書提出を求める請願

市道大皆川線の入り口の拡幅と、交差点改良をしてもらいたい。

・水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める請願（新潟水俣病阿賀野患者会会長）

水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書一件を可決し、関係機関へ提出しました。

その意見書は次のとおりです。

◎水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書

新潟水俣病は熊本の水俣病の被害拡大を防ぎえず第二の水俣病として、一九六五年（昭和四十年）六月十二日に公式発表され、今年の六月で四十七年目を

迎えます。世界最大の公害病である水俣病の被害者は新潟で三千名を超え、熊本・鹿児島では六万名を超える数となり、九州の有明海沿岸、新潟の阿賀野川流域に甚大な被害を与えました。

水俣病公表の半世紀を過ぎた現在でも名乗り出る被害者は後を絶ちません。平成二十二年五月開始の水俣病特別措置法の申請受付は、新潟では今年四月末で一千三百九十五名に上っています。

そのような中、環境省は二月に特別措置法の申請期限を七月末と発表しました。その後、申請者数は三月に八十四名、四月に六十九名とそれ以前の月三十名前後の二倍以上の大幅増となり、今後の申請者はさらに三百名が予測されます。

これら被害者の多くは、水俣病の社会的差別に対する恐れや水俣病そのものに対する無知、無理解から申請手続きをしなかったことによると考えられます。環境省の「七月末締切」は、こうした多数の潜在被害者の切り捨てにつながり、またしても問題解決を先送りするものです。水俣病特別措置法は「地域における紛争を終結させ、水俣病問題の最終解決」を図るため、

記

一、水俣病特別措置法の申請期限を延長するとともに、恒久的な経済システムを確立すること。

二、全ての水俣病患者を救済するために、阿賀野川流域の住民健康調査の実施及び民間の医療機関が行う住民検診に協力し、潜在被害者の発掘に努めること。

また、住民健康調査の手法・手段等については、関係者推薦の疫学・社会学・法学等関係者による調査会を環境大臣直属の機関として設け、健康調査を実施すること。

三、なぜ第二の水俣病の発生を防止できなかったのか、行政の立場からしっかり検証すること。

請願・陳情を提出されたい方へ

市民の皆さんは、市の仕事に対して意見や要望を市政に反映させるため、いつでも請願や陳情を市議会議長あてに提出することができます。ただし、議会日程との関係から、定例会7日前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日に当たるときは金曜日）午後5時までに受け付けたものを、その定例会で請願は審議し、陳情については参考配付することとしています。なお、請願を提出する場合は、紹介議員が必要（3名以内）ですが、陳情の場合は、必要ありません。

※例 (表紙)

〇〇〇に関する請願
紹介議員

〇〇〇〇印
〇〇〇〇印
〇〇〇〇印

(本文)

〇〇〇に関する請願

1. 要旨
.....

2. 理由
.....

平成 年 月 日

住所
氏名

加茂市議会議長 様

問題の最終解決」を図るため、

6月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
1	水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める意見書	原案可決
市長提出議案		
38	専決処分の承認（24年度国民健康保険特別会計補正予算第1号）	承認
39	専決処分の承認（24年度一般会計補正予算第4号）	〃
40	専決処分の承認（24年度一般会計補正予算第5号）	〃
41	24年度一般会計補正予算（第6号）	原案可決
42	印鑑条例及び手数料条例の一部改正	〃
43	子どもの医療費助成に関する条例の一部改正	〃
44	市道路線の廃止	〃
45	市道路線の認定	〃
46	市道路線の変更	〃
47	固定資産評価審査委員会委員の選任（増井孝一氏）	同意
48	人権擁護委員候補者の推薦（小池俊木氏）	〃
49	人権擁護委員候補者の推薦（太田由紀子氏）	〃
50	人権擁護委員候補者の推薦（捧一男氏）	〃
51	24年度一般会計補正予算（第7号）	原案可決

7月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
52	24年度一般会計補正予算（第8号）	原案可決
53	子どもの医療費助成に関する条例の一部改正	〃

記事の訂正
前回号、七ページ中の請願の処理経過と結果の中で、倉田丸山線とありましたが、正しくは倉田中丸線でありましたので、訂正して、お詫び申し上げます。

連合審査会

六月二十二日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案七件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

五月二十二日に月例全員協議会を開催し、事務に関する説明書の質疑及び、県立武道館の誘致について説明を受け、質疑を行いました。

議会日誌

- 22日 月例全員協議会
- 23日 全国議長会定期総会（東京）
- 13日 議会運営委員会
- 20～29日 定例市議会

（京）

25日 特別豪雪地帯市町村議会協議会総会（三条）

8日 医療問題特別委員会行政視察（県立新発田病院）

〔視察事項〕
・県立新発田病院の概要と現状について
・救命救急センターの運営について

- 委員長 高橋 禧雄
- 副委員長 安田 憲喜
- 委員 保坂 裕一
- 委員 森川 豊
- 委員 高井 保
- 委員 山田 義栄
- 委員 樋口 博務
- 委員 安武 秀敏

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員会から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。

- 25日 全員協議会
- 〈7月〉
- 10日 三市議長会議（加茂）
- 三市議会議員合同研修会（加茂）
- 18日 議会運営委員会
- 20日 臨時市議会
- 月例全員協議会
- 議会だより編集委員会
- 25～27日 総務文教常任委員会行政視察（恵庭、伊達）
- 〔視察事項〕
- ・恵庭市子ども読書プランについて
- ・特色ある教育について
- ・総合体育館について



次の定例会は、9月19日（水）から開催の予定です。